



第1期生は6名でスタート

■お問い合わせ先

国立大学法人愛媛大学
EUアドバンスド・リサーチ・フェローシップ

コーディネーター 瀬野 英二

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番
TEL.089-927-9901 FAX.089-927-9679
E-mail / seno.eiji.ib@ehime-u.ac.jp



<https://www.eng.ehime-u.ac.jp/rikougaku/info/fellowship/index.html>



EU
アドバンスド
リサーチ
フェローシップ
EU Advanced Research
Fellowship

愛媛から世界をめざす
学生のための
愛媛大学フェローシップ



学長挨拶

愛媛大学は、文部科学省の「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」に採択されたことを受け、「愛媛から世界を目指す学生のための愛媛大学フェローシップ-EUアドバンスド・リサーチ・フェローシップ」事業を創設しました。この事業の目的は、博士後期課程の学生に経済的支援を行い、さらに、研究者としての能力向上と将来のキャリアパスを支援することによって、優れた博士人材として社会で活躍いただき、次世代のわが国及び世界の科学技術のイノベーションを担っていただくことにあります。具体的には、理工学研究科の博士後期課程に在学し、世界トップクラスの研究を展開する4つの全学研究センター（沿岸環境科学研究センター、地球深部ダイナミクス研究センター、プロテオサイエンスセンター、宇宙進化研究センター）または工学部附属センター群で研究に従事している博士後期課程の学生をサポートするものです。

愛媛大学は、「地域を牽引し、グローバルな視野で社会に貢献する教育・研究・社会活動を展開する」というビジョンを掲げています。近年、大学には、「地域における知の拠点」として地域創生にも係わることが期待されています。しかし、大学が社会の中で特異的に持っている機能は、「高度かつ先端的な研究を展開する」機能です。大学での教育は、この研究成果に基づいた高等教育であるべきで、さらに、社会連携、国際連携は、これらの研究力、教育力を地域社会や国際社会との接点で発揮するものです。すなわち、社会の中での大学の存在価値の源泉は、「高度かつ先端的な研究力」です。このことを、改めて、再認識したいと思います。

私たちが生きているこの社会は、人口減少、地球温暖化、多発する自然災害に加えて新型コロナウイルスによる感染拡大と、まさに、私たちの生存と平穏な暮らしが脅かされる状況が続いています。今後、世界には多くの困難が待ち受けていると考えざるを得ません。これまでの社会と決別し、新たな価値観や社会システムを再構築する、すなわち、「すべての面でイノベーションする」ことが、人類の生存のために求められています。本事業に採択された学生には、博士号を取得した後、自立した研究者となり、研究面だけでなく社会活動面でも世界のリーダーとして活躍されることを期待しています。

愛媛大学長
仁科 弘重



愛媛大学 フェローシップ事業

愛媛から世界をめざす学生のための愛媛大学フェローシップ

EUアドバンスド・リサーチ・フェローシップ

事業目的

博士後期課程の学生は、次代の科学技術・イノベーションを担う貴重な存在です。しかし、近年、博士後期課程における経済的な不安と研究者としての将来のキャリアパスが不透明であることが相まって、我が国では、博士後期課程に進学する学生が減少傾向にあります。このような背景を踏まえ、愛媛大学では、修士課程から博士後期課程に進学する優秀な人材の確保を図るため、博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの支援を、全学的な戦略の下で一体として実施いたします。

実施概要

愛媛大学では、理工学研究科と先端研究・学術推進機構のセンター群（沿岸環境科学研究センター、地球深部ダイナミクス研究センター、プロテオサイエンスセンター、宇宙進化研究センター）が有する、自然科学から応用科学まで幅広く特色ある学術研究基盤のもとで、研究者養成を実施していますが、選考したフェローシップ学生に対し、さらに右記の支援を行います。



文部科学省の「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」とは

事業目的

修士課程から博士後期課程に進学する優秀な人材の確保を図るため、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出を担う博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの確保を、全学的な戦略の下で一体として実施する大学に対して補助金を支援するものです。

支援実績

全国国公立私立大学 47機関(2021年度)

国による支援(機関補助)

